

## 「ISIJ International」執筆要領

### 1. 原稿長さの概算

- ・刷り上がり 1 頁は約 1000 語である。
- ・図は通常、刷り上がり 1 段 84mm 幅に合うように縮小される。例えば、大きめのサイズである 110 mm×84 mm の図は、約 250 語に等しい。

### 2. 原稿書式

- ・ISIJ Int.用の書式を使用して原稿を次の順番で作成する。Synopsis と Key words を 1 ページとし、以降のページに連続したページ数を振る。

No.	原稿名	使用書式	注意点
(1)	タイトルページ	Application form (PDF ファイル)	Application form に必要事項を全て記入して、PDF ファイルのままアップロード画面でシステムにアップする。
(2)	Synopsis と Key words	テンプレート (Word ファイル)	テンプレートの書式に従って作成する。
(3)	本文 (図表を除く)		
(4)	利益相反に関する宣言		
(5)	謝辞		
(6)	文献		
(7)	図・表		
(8)	付 録 、 Supporting Information (動画の場合は静止画) など	テンプレートなし	Supporting Information が図表ファイル等の場合は、表紙 (書式参照) を付ける。

- ・上記(1)～(7)の他に、場合により次のファイルも提出する。
  - (1) 解像度が高く鮮明な図 (Graphical Abstract を含む) の電子データファイル (テンプレート中の図が鮮明でない場合)
  - (2) 画像を含まない表の電子データファイル (テンプレート中の表が画像の場合)
  - (3) Supporting Information のデータファイル (Supporting Information を掲載する場合)
- ・電子投稿審査システムにアップロードするファイル全体の容量は、Supporting Information のファイルを除き、19.5MB 以内とする。

- (1) タイトルページには、Application form を代用する。
- (2) Synopsis は、主な対象、目的、重要な結果を簡潔明瞭に 250 語以内にまとめる。シノプシスに引き続き、Key Words 数語 (最大 6 語) を記載する。また、Key Words に略語は使用しない。
- (3) 論文の本文は、結果を再現できるように詳細に記述する。また、適切な参考文献を引用する。結論は当該論文を通して示された事項に基づいて記述する。略語は、元の用語が本文中で最初に記述されるときにカッコ書きで定義する。
- (4) 本文に続いて **Statement for conflict of interest** (利益相反に関する宣言) を明記しなければならない。
- (5) **Acknowledgment(s)** には、投稿原稿における研究の資金源を記載するのが望ましい。また、原稿の校正や校閲を依頼した会社等への謝辞は記載しない。
- (6) **Reference(s)** には、通し番号を付ける。
  - ・本文中の引用箇所には、例えば、Gibbs<sup>1)</sup>、Einstein<sup>2,3)</sup>、Newton<sup>4-6)</sup>のように、上付き片閉じ括弧で示す。本文の最後に頁を改めて、引用文献を番号順にリストにする。
  - ・初めに名前のイニシャル、最後に姓を書く書き方で、全ての著者の氏名を記載する。
  - ・また、文献の言語が英語以外の場合は、その言語を末尾に記載する。例えば、文献が日本語や独語

の場合は、末尾にそれぞれ (in Japanese) や (in German) と記載する。

- DOI を持つ文献には、末尾に DOI の URL を記載例に則して明記しなければならない。また、DOI を持たないが、書籍等で ISBN を持つ場合は ISBN を記載する。
- 汎用ソフトのマニュアル等は引用不可とする。
- AI 支援ツールを用いて作成された情報を参考資料として文献欄に含めることを認めない。

適切な形式として、次の例を参照されたい。

#### 1) 雑誌

- ISO 4 に準拠した標準の省略形 (イタリック体) を用い、巻番号、出版年、最初の頁番号、DOI の URL を記載する。
- 雑誌名は略記例リストを参照する。

[例]

- ① M. Kato, S. Mizoguchi and K. Tsuzaki: *ISIJ Int.*, **40**(2000), 543. <https://doi.org/10.2355/isijinternational.40.543>
- ② S. Suzuki and K. Suzuki: *CAMP-ISIJ*, **5**(1992), 1433 (in Japanese).
- ③ S. Suzuki and K. Suzuki: *CAMP-ISIJ*, **21**(2008), 111, CD-ROM (in Japanese).
- ④ E. Mazanek and M. Wyderko: *Stahl Eisen*, **89** (1969), 863 (in German).

#### 2) 書籍 (会議のプロシーディングを含む)

タイトル、巻番号、(会議名略称併記)、(エディター名)、出版社、出版社(本部)の場所、出版年、頁番号、DOI の URL または ISBN (それらが無い場合は DOI に代わる URL があれば記載する) の順で記載する。

[例]

- ① W. C. Leslie: *The Physical Metallurgy of Steels*, McGraw-Hill, New York, NY, (1981), 621. ISBN978-0070377806
- ② U. F. Kocks, A. S. Argon and M. F. Ashby: *Progress in Materials Science*, Vol.19, ed. by B. Chalmers, Pergamon Press, Oxford, (1975), 1.
- ③ Y. Chino, K. Iwai and S. Asai: *Proceedings of the 3rd International Symposium on Electromagnetic Processing of Materials*, EPM 2000, ISIJ, Tokyo, (2000), 279, CD-ROM.
- ④ A. D. Rollet, U. F. Kocks, J. D. Embury, M. G. Stout and R. D. Doherty: *Proceedings of the 8th International Conference on Strength Metals and Alloys*, Vol.1, ICSMA 8, ed. by P. O. Kettunen et al., Pergamon Press, New York, NY, (1989), 433. <https://doi.org/10.1016/B978-0-08-034804-9.50065-6>

#### 3) 学位論文

学位論文の種類、大学名、学位授与年、頁数、URL、アクセス日の順で記載する。

[例]

S. Ono: Ph.D. thesis, Tokyo Institute of Technology, (2000), <http://www.titech.ac.jp/Thesespdfs/speck.pdf>, (accessed 2006-02-01).

#### 4) 規格

規格番号：制定年、規格標題の順で記載する。

[例]

- ① JIS L 1902: 2008, Testing for antibacterial activity and efficacy on textile products (in Japanese).
- ② ISO 14404-1: 2013, Calculation method of carbon dioxide emission intensity from iron and steel production -- Part 1: Steel plant with blast furnace.

#### 5) Web サイト

出版物などが無い、または入手困難である、引用先が公的機関のホームページなどで、アクセス日が記載されていて、掲載継続性と信頼性が高いと判断される場合に限り、ホームページの引用を認める。

Web サイトの題名、Web サイト提供元、(報告書の名称)、(報告書発行日)、入手先(URL)、(アクセス日) の順で記載する。

[例]

- ① T. Tanaka: President's message, the Iron and Steel Institute of Japan, <https://www.isij.or.jp/about/message/>, (accessed 2019-09-25).
- ② Ministry of the Environment, Government of Japan: White Paper, (Annual Report on the Environment, the Sound Material-Cycle Society and Biodiversity in Japan 2018), (June 5, 2018), <https://www.env.go.jp/en/wpaper/index.html>, (accessed 2019-07-22).

(6) 必要に応じて付録あるいは Supporting Information を添付してもよい。

### 3. 図表

- (1) 図表は、テンプレートの末尾に記載し、本文中に挿入しない。
- (2) 図表は、それぞれ頁を改め、1 頁に 1 図表とする。
- (3) 図表には本文に出てくる順に通し番号を付けるとともに、適切なキャプションを付ける。キャプションはテンプレート自体に入力する。
- (4) カラーの図表は論文誌編集委員会で認められ、カラー掲載料が支払われたものに限り掲載することができる。カラー掲載料は、電子ジャーナルは無料、冊子体は 1 頁あたり 35648 円 (税込み) とする。冊子体にカラーを希望する場合は、図表原稿に“color in print”と明記する。冊子体に白黒で掲載する場合でカラー原稿を投稿するときはコントラスト等に注意して作成する。電子ジャーナルでは、提出されたカラー原稿はそのままカラーで掲載されるので、冊子体と電子ジャーナルの両方で白黒掲載を希望する場合は、白黒の図表原稿を提出すること。

表のみ：

- (5) 表は Microsoft Word の機能により作成する。テンプレート末尾に記載した表が画像の場合は、画像以外の電子データファイルをテンプレートとは別に提出する。

図のみ：

- (6) グラフ、チャート、描画、図形、写真を、Figure と呼ぶ。これらは、鮮明なものを用意する
- (7) Figure は通常、刷り上がり 1 段 84mm 幅に合うように縮小される。
- (8) Figure が複数の写真からなる場合は、それぞれの写真を(a), (b), (c)...のように示し、スペースを空けずに貼り付ける。これらにはスケールを入れて倍率を示す。
- (9) テンプレート末尾の記載とは別に、解像度が高く鮮明な図の電子データファイルを提出する。

### 4. 電子付録 (Supporting Information)

論文内容を補足、補強するための情報を電子付録として、電子版に搭載することができる。Supporting Information は冊子体には印刷されないが、閲覧者は Web からアクセスが可能である。

本誌の Supporting Information は動画ファイルおよび (または) 図表よりなり、搭載のための条件は以下のとおり。

本文中の記載とデータ添付について：

- (1) 補足情報の番号は次のように通し番号を付ける。  
Movie S1, Movie S2, …, Table S1, Table S2, …, Figure S1, Figure S2, …
- (2) 本文中では初出時に“Movie S1 (Supporting Information)”のように引用し、“Supporting Information”を併記する。
- (3) 本文の最後 (謝辞があればその前、なければ文献の前) に Supporting Information が附属している旨を次のように記述する (組版時に DOI の URL が末尾に追記される)。

Supporting Information : (内容を簡潔に記載する). This material is available on the Website.

- (4) Supporting Information は、投稿論文の一部として同様に審査に付すために、上記(1)~(3)の本文中の記述とは別に、図・表原稿の最後に Supporting Information の図・表、動画なら静止画を番号とキャプションをつけて含める。その上で、投稿システムにファイルデータ等を「Supporting Information」

のファイル種類としてアップする。

#### Web 上で掲載するデータについて：

- (5) 動画ファイルの場合、ファイルの容量は 50MB 以内、形式は mp4 とする。図表ファイル等の場合は、表紙（書式参照）を付け、pdf とするか、docx、xlsx で掲載したい場合、複数のファイルになる場合は zip ファイルにまとめる。

#### その他注意事項：

- (6) 受理された論文が公開される際、Supporting Information については校正過程を経ず著者が作成したものがそのままアップロードされる。
- (7) Supporting Information は本公開時にのみ Web 上に公開され、早期公開では掲載されない。

#### 5. グラフィカル・アブストラクト

Synopsis に加えて、論文の内容を表す図 1 枚をグラフィカル・アブストラクトとして、J-STAGE のオンラインジャーナルおよび GridList Abstracts に掲載する。このため、グラフィカル・アブストラクトは必ず指定しなければならない。

- (1) グラフィカル・アブストラクトの図は、論文内容を表す必要があることから、原稿中の図に無い場合は新たに作成する。
- (2) 掲載する図は、テンプレートの末尾に記載し、原稿種類として「Graphical Abstract」と明記する。また、解像度が高く鮮明な図の電子データファイルも提出する。
- (3) 図には、キャプションを加えることができない。
- (4) グラフィカル・アブストラクトはカラーとすることが推奨される。
- (5) 図がグラフィカル・アブストラクトとして適切かどうか審査を受ける。

#### 論文の分野

- |      |  |
|------|--|
| I    | 高温プロセス基盤技術／Fundamentals of High Temperature Processes        |
| II   | 製鉄／Ironmaking  |
| III  | 製鋼／Steelmaking   |
| IV   | 鋳造・凝固／Casting and Solidification                             |
| V    | 計測・制御・システム技術／Instrumentation, Control and System Engineering |
| VI   | 分析・解析／Chemical and Physical Analysis                         |
| VII  | 加工・加工熱処理／Forming Processing and Thermomechanical Treatment   |
| VIII | 溶接・接合／Welding and Joining                                    |
| IX   | 表面処理・腐食／Surface Treatment and Corrosion                      |
| X    | 相変態・材料組織／Transformations and Microstructures                 |
| XI   | 力学特性／Mechanical Properties                                   |
| XII  | 物理的性質／Physical Properties                                    |
| XIII | 境界領域／New Materials and Processes                             |
| XIV  | 社会・環境／Social and Environmental Engineering                   |